

令和5年度 部の運営方針管理書

部 局 名	健康福祉部
部 局 長 名	飯田 秀勝
部の運営方針	<p>○第四次総合計画の基本目標を推進するため「第6次健康福祉総合計画」及び各部門の計画に基づき、施策や事業に取り組みます。</p> <p>○地域福祉施策は、すべての市民が、地域で安心して暮らせる「地域共生社会」を目指し、地域で共に支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携により、民生委員・児童委員の確保に取り組みます。また、「成年後見制度利用促進基本計画」及び「自殺対策計画」に基づき、権利擁護や自殺対策、孤立死対策に引き続き取り組みます。</p> <p>○生活困窮者施策は、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者への相談支援に取り組むことを継続します。また、生活保護受給者への自立等の支援についても引き続き、関係機関と連携し取り組みます。</p> <p>○障害者施策は、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるように、「第3期障害者プラン（障害者計画・障害福祉計画）」に基づく事業を推進します。特に、障害者就労支援の関係機関と連携し、訓練の充実と雇用の促進を図ります。また、NPO法人や社会福祉法人等の関係機関と連携し、障害者の日中活動の場、生活の場及び相談支援の充実に取り組みます。さらに、国の方針に基づき、「第4期障害者プラン（障害者計画・障害福祉計画）」の策定を進めます。</p> <p>○健康・医療施策は、健康寿命の延伸を目指し、健康づくり・食育・歯と口腔の各種計画を統合した「第2次心も身体も健康プラン」に基づく各種事業を推進します。特に、病気の原因となる危険因子の一次予防を重要な取り組みとして位置付け、「自ら取り組む、みんなで続ける健康づくり」を基本理念とし、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組んでいます。さらに、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組んでいます。</p> <p>○高齢者施策は、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、3年目となる「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画」に基づく事業を引き続き推進するとともに次期計画策定を進めます。また、高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策を推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図ります。さらに、地域住民をはじめとする多様な主体がつながり、活動する地域共生の取組を推進します。</p> <p>○高齢者支援課、国保年金課、健康づくり支援課の三課連携により、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を推進し、前年度のアンケート結果や対応策を踏まえ高齢者が生き生きと暮らすまちを目指します。</p> <p>○国民健康保険事業は、被保険者が必要な医療を安心して受けられるように健全運営を目指し、保険税収納率の向上に取り組むとともに医療費の適正化に努めます。特に、最終年度となる「第2期データヘルス計画」に基づいた保健事業を推進すると共に、「第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」を策定し、被保険者の健康増進に努めます。また、国民健康保険の広域化については、引き続き、保険者である県と連携し円滑な運用を図ります。</p> <p>○国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料、介護保険料の多様な納付方法について周知し利便性の向上に努めます。</p>

部 局 名	健康福祉部
部 局 長 名	飯田 秀勝
部の運営方針に対する総合評価	<p>・第四次総合計画の基本目標2に掲げた「誰もが健康で自分らしくともに暮らせるまちづくり」の実現のため、「第6次健康福祉総合計画」及び各部門の計画に基づき、施策や事業に取り組みました。健康福祉総合計画は、令和6年度が計画最終年度となるため、次期計画策定のための市民アンケートを実施しました。</p> <p>・各施策や事業の主な取り組みとして、地域福祉施策においては、「地域共生社会」の実現を目指し、民生委員・児童委員活動や社会福祉協議会を支援するとともに、計画最終年度となった自殺対策計画について「第2次いのちを支え合う自殺対策計画」を策定しました。また、成年後見制度の利用促進に係る現状、課題等に関し、様々な立場の方から意見を聴くため、「成年後見制度利用促進検討委員会」を設置しました。</p> <p>生活困窮者施策においては、生活保護法による保護に加え、生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者への相談支援に引き続き取り組みました。さらに、国の交付金を活用した物価高騰対策として、家計への影響が大きい低所得世帯への「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援金」等の給付金支給を迅速に行いました。</p> <p>障害者施策においては、「自分らしく」を応援するまちあびこを基本理念とする「第4期障害者プラン（障害者計画・障害福祉計画）」を策定しました。また、障害者の自立支援事業等を推進し、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活ができるよう取り組みました。さらに、障害者就労支援に係る訓練と雇用の促進のため、チャレンジドオフィスあびこを4月に開設し、あらかき園では、施設の老朽化対策として、大規模改修を実施するため、施設改修工事の設計を行いました。</p> <p>健康・医療施策においては、健康寿命の延伸を目指し、健康づくり・食育・歯と口腔の健康づくりを推進するため各種事業を実施するとともに、「第2次心も身体も健康プラン」の最終評価を行いました。評価結果を踏まえながら計画最終年度である令和6年度に次期計画を策定します。また、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、伴走型の相談支援を充実するとともに、妊娠期と出産後に「出産・すくすく応援給付金」を給付する経済的支援を合わせて実施しました。地域医療体制については、第一次救急を担う市内小児科専門医の不足が深刻であることから、市内西側に小児科を有する診療所を開設する者等に開業促進につながる補助金を交付できるよう準備を行いました。</p> <p>高齢者施策においては、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」を策定しました。また、高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策などを推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図りました。</p> <p>国民健康保険事業においては、被保険者が必要な医療を安心して受けられるように健全運営を目指し、保険税収納率の向上に取り組むとともに医療費の適正化に努めました。また、被保険者の健康増進を図るため、国保保健事業の実施計画となる「第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」を策定しました。</p> <p>・令和5年度部の運営方針に対する総合評価は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後、感染防止対策と緩和のバランスを図りながら施策に位置付けた各事業を実施・推進するとともに、新たな政策的事業についても円滑に実施できたことから、運営方針に掲げた各施策の取り組みについて、概ね達成できたと評価します。</p> <p>引き続き、各施策を効果的・効率的に展開できるよう事業の必要性や見直しを図りながら取り組んでいきます。</p>

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 社会福祉課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、以下の取組を進めます。

- ・地域福祉の推進を図るため、地域住民の福祉活動支援、外出・移動支援事業、孤立死防止対策事業、献血・骨髄ドナー推進事業、社会福祉法人の法人運営に対する指導監査、第6次健康福祉総合計画の進行管理に取り組みます。
- ・生活支援の推進を図るため、生活・福祉に関する総合的な相談・支援を行います。
- ・妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援を推進するため、子どもの学習支援や子ども食堂の活動を推進します。
- ・男女共同参画の推進を図るため、DV相談に取り組みます。
- ・人権尊重社会の推進を図るため、人権相談・啓発活動、自殺対策事業に取り組みます。自殺対策事業については、現在の「我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画」の計画期間が、今年度で終了するため、次期計画を策定します。
- ・平和社会の推進を図るため、平和祈念事業に取り組みます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した全取組について実施しました。

また、物価高騰の影響を受けた低所得者を支援するため、給付金や生活困窮者自立支援事業などを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

関係機関と連携することにより、総合的な支援体制で複合的な課題のある市民に対応することができました。課の各事業の推進により、おおむね目標を達成することができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

生活困窮に関する相談や生活保護の申請が増加しているため、相談支援体制の充実を図り、関係機関との連携を強化します。また、第7次健康福祉総合計画の策定において地域福祉の推進についての課題を整理し、各施策を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域住民の福祉活動支援	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害の有無や年齢、性別に関わらず、すべての市民が地域でともに支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会などとの連携を強化し、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指します。		
関連する市の計画等	介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画、障害者プラン、健康福祉総合計画、第5次行政改革推進プラン(社会福祉協議会運営費補助金の見直し)		
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	根戸福祉センターの運営管理		
	社会福祉協議会支援事業		
	民生委員推薦		
	社会福祉協議会事業委託		
	成年後見制度利用の支援		
	成年後見制度利用促進基本計画(仮)策定事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)
令和4年度	決算額	117,345	0
令和5年度	当初予算額	118,936	0
	補正後予算額	115,706	0
	決算額	114,588	0
	次年度へ繰越	0	0

年度		人工	
		正職員	会計年度等
令和4年度	(年度末時点)	1.21	0.15
令和5年度	4月1日時点	1.21	0.15
	年度末時点	1.06	0.15

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	民生委員・児童委員協議会活動等援助委託の執行率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	市民後見人養成講座・フォローアップ講座受講者数	人	目標値	5	15	5	10	10
			実績値	0	3	2		
成果 指標	根戸福祉センター施設、設備の管理達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	令和4年度に実施した市民後見人基礎講座受講者3名のうち、2名がフォローアップ講座を受講し終了することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	市民後見人養成講座・フォローアップ講座については、国・県からの要望により推進する必要がある。 地域福祉の推進を図っていくために民生委員業務など市内全域で安定した事業を実施することができる社会福祉協議会に委託する。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	外出・移動支援事業
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。
事務事業の目的 ・概要	高齢者や障害者が孤立することのないよう、外出や移動がしやすい環境を整備します。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	福祉バス運行	
	福祉有償運送運営協議会開催	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	15,447	0	令和4年度 (年度末時点)	0.26	0.60	
令和5年度	当初予算額	12,259	0	令和5年度	4月1日時点	0.26	0.60
	補正後予算額	16,644	0		年度末時点	0.18	0.60
	決算額	16,235	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	福祉有償運送事業所登録団体数	団体	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	5		
活動 指標	福祉バス利用率	%	目標値	20	30	40	50	50
			実績値	20	46	52		
成果 指標	福祉有償運送事業所における無事故率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、福祉バス利用団体が増大し目標値を上まわる利用があった。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	福祉バスは、利用団体も増えていることから今後も高齢者や障害者の外出支援事業として継続して行っていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	孤立死防止対策事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	自宅で誰にも気づかれずに亡くなり、死後発見される「孤立死」を防ぐため、市内外のライフライン事業者や配送事業者、福祉事業者と連携し、孤立した 状態で生活困窮に陥っている市民をいち早く発見し支援します。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	孤立死防止対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	0.20	0.00	
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	0.20	0.00
	補正後予算額	0	0		年度末時点	0.20	0.00
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	孤立死防止連絡協議会参加団体数	団体	目標値	75	78	80	82	88
			実績値	76	78	80		
成果 指標	孤立死防止対策ダイヤル受付件数	件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	0	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	各団体が行っている孤立死防止対策サービスについて、市ホームページ、SNS等を活用し広報・周知活動を進めることができた。また、庁内 関係課や関連団体と適宜連携し、連絡・情報共有・相談支援の実施ができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も、庁内関係課や関連団体と適宜連携し、連絡・情報共有・相談支援の実施をする。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	献血・骨髄ドナー推進事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 血液の安定供給に寄与するため、日本赤十字社の献血事業を支援します。 骨髄移植の登録者と提供者を増やすための取組を支援します。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	骨髄移植ドナー支援事業		
	日本赤十字社の援護		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	140	0	令和4年度 (年度末時点)	0.02	0.10	
令和5年度	当初予算額	140	0	令和5年度	4月1日時点	0.02	0.10
	補正後予算額	280	0		年度末時点	0.02	0.10
	決算額	280	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	協会会員数と献血者数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	600	796	790		
成果 指標	骨髄等の提供件数	件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	1	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	令和5年度の活動指標は、令和4年度と比較し若干減少したが予定通り献血を行うことができた。また、骨髄移植ドナー提供者2名から申請があり助成金を支給した。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	血液や骨髄移植を待つ患者のために一人でも多くの登録者を増やすことが必要であることから事業を推進していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	社会福祉法人の法人運営に対する指導監査	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしなが ら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	福祉サービスを提供する社会福祉法人に対し、運営状況や会計管理状況などについて、指導監査をよりの確に実施していきます。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	社会福祉法第56条に基づく社会福祉法人に対する指導監査実施		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	2,540	0	令和4年度 (年度末時点)	0.57	0.20	
令和5年度	当初予算額	2,866	0	令和5年度	4月1日時点	0.57	0.20
	補正後予算額	2,866	0		年度末時点	0.52	0.40
	決算額	2,848	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	指導監査を実施する社会福祉法人数	法人	目標値	10	5	5	5	5
			実績値	10	6	5		
成果 指標	前回の指摘事項が改善されている社会福祉法人 数/監査を実施した社会福祉法人数	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	5カ所の社会福祉法人について順調に事務を遂行した。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	社会福祉法人に対する指導監査は、社会福祉法第56条に基づき実施していく。

1. 事業概要

事業名及び担当部署等	事務事業名	健康福祉総合計画の策定及び進行管理		
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課		
基本計画における位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進		
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。		
事務事業の目的・概要	健康福祉部門及び子ども部門における方向性を示し推進するとともに、他部門との連携を更に強めることで、社会環境の変化により複合化・複雑化している社会課題に対して対応し、あらゆる人が受けとめられるまちづくりを推進します。			
関連する市の計画等	健康福祉総合計画			
当該年度実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	健康福祉総合計画基本目標達成に向けた個別計画及び事業の推進及び進行管理			
	第7次健康福祉総合計画策定事業			
継続費設定事業				
債務負担行為設定事業				

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分事業費(千円)	年度		人工		
				正職員	会計年度等			
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)		0.20	0.15	
令和5年度	当初予算額	32	0	令和5年度	4月1日時点	0.20	0.10	
	補正後予算額	32	0		年度末時点	0.16	0.10	
	決算額	25	0					
	次年度へ繰越	0	0					

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動指標	事後評価における個別計画及び事業の進捗率 (順調に推進している計画及び事業数/計画及び事業数)	%	目標値	70	75	80	85	80
			実績値	78	78	100		
成果指標	市民アンケート調査における健康福祉改善率 { (100%-不満・やや不満の割合%) / 7項目 }	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	100	-	-		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	個別計画及び事業の推進、進行管理を順調に遂行できた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	健康福祉総合計画基本目標達成に向けた個別計画及び事業の推進及び進行管理を行い、令和6年度に第7次健康福祉総合計画策定事業に繋げる。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活・福祉に関する総合的な相談・支援の実施	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護制度を適正に運用し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、日常生活の支援と経済的な自立を促進します。 さまざまな要因から生活に困窮している人の経済的な自立を促進するため、関係機関と連携し、相談から自立までの継続的な支援に取り組みます。 多様化する相談内容に対応し、適切な支援を提供できるよう、福祉関係団体をはじめ弁護士会やハローワークなどの関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	生活保護事業		生活保護システム改修事業
	被保護者健康管理支援事業		電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業
	被保護者就労支援事業		電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金給付事業 (追加給付分)
	自立相談支援事業		物価高騰対応生活支援給付金給付事業
	住居確保給付金事業		
	一時生活支援事業		
	中国残留邦人生活支援給付費支給事務		
	被災者援護		
	生活一時資金貸付基金制度未償還金の回収事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	3,292,809	85,755	令和4年度 (年度末時点)	18.95	6.15	
令和5年度	当初予算額	2,506,758	0	令和5年度	4月1日時点	19.65	6.35
	補正後予算額	4,215,281	0		年度末時点	20.64	6.35
	決算額	3,849,276	0				
	次年度へ繰越	268,549	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	生活困窮者等に対する相談対応件数	件	目標値	2,200	3,500	3,800	4,000	4,200
			実績値	2,543	2,101	1,857		
成果 指標	福祉相談窓口受付件数	件	目標値	1,050	1,200	1,400	1,600	1,700
			実績値	777	762	783		
成果 指標	就職につながった件数	件	目標値	48	50	52	54	56
			実績値	37	52	57		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	生活困窮、就労相談、あらゆる相談に対応することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	誰もが自立した生活を送るため、生活困窮者自立支援法による支援及び生活保護制度等の支援が今後も必要です。

1. 事業概要

事業名及び担当部署等	事務事業名	子どもの貧困対策事業
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課
基本計画における位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。
事務事業の目的・概要	経済的な理由による格差の解消や子どもと地域の交流を図るため、学習支援や子ども食堂の活動を推進します。	
関連する市の計画等		
当該年度実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	子どもに対する学習・生活支援事業	
	子ども食堂活性化事業	
	けやきプラザ11階の施設運営	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	4,447	0	令和4年度 (年度末時点)	0.70	0.80	
令和5年度	当初予算額	4,169	0	令和5年度	4月1日時点	0.70	0.80
	補正後予算額	4,074	0		年度末時点	0.70	0.00
	決算額	3,685	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動指標	我孫子市学習支援ネットワークへの参加団体数	団体	目標値	25	30	30	30	31
			実績値	19	19	17		
成果指標	我孫子市学習支援教室利用登録者数	人	目標値	90	92	94	96	98
			実績値	92	91	85		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	市直営の学習支援教室は閉室したが、市民団体やNPO法人等による学習支援教室は各地域で活発に行われている。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	引き続き、協力登録団体の活動を支援するとともに、利用する子どもが増えるよう広報活動などに力を入れ、貧困の連鎖の予防を図っていく。子ども食堂活性化事業については、令和6年度から所管を子ども支援課に移し引き続き推進していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	DV相談
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-1 男女共同参画の推進
	施策の展開内容	性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。 また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。
事務事業の目的 ・概要	DV被害者が安心して自立した生活を送れるよう、相談及び支援体制を充実させます。	
関連する市の計画等		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	指 DV相談	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)		0.60	1.47
令和5年度	当初予算額	0	0	令和5年度	4月1日時点	0.60	1.60
	補正後予算額	0	0		年度末時点	0.60	0.00
	決算額	0	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	DVに関する相談対応件数	件	目標値	600	380	390	400	410
			実績値	370	305	249		
成果 指標	DVに関する相談対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	女性相談支援員の欠員時期は対応が困難であったが、係内の職員の協力により男女問わず全ての相談に対応している。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	DV相談の増加により、DV被害者への総合的な支援が今後も必要。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	人権相談・啓発活動	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-2 人権尊重社会の推進	
	施策の展開内容	すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての人がお互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性や能力を十分に発揮できるよう、人権についての理解を深めるための啓発活動を推進します。 ・差別や虐待、ハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談を受け付けるため、関係機関と連携し、人権擁護委員による人権相談を実施していきます。 ・非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、地域全体で理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、啓発運動に取り組みます。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	人権相談		
	人権に対する啓発活動		
	社会を明るくする運動		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	1,446	0	令和4年度 (年度末時点)	0.46	0.10	
令和5年度	当初予算額	924	0	令和5年度	4月1日時点	0.46	0.10
	補正後予算額	924	0		年度末時点	0.42	0.50
	決算額	907	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	相談に対して確実に対応した対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	全ての相談に対し、断ることなく対応することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	様々な人権問題が数多く存在しているため、事業の継続が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	自殺対策事業
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-2 人権尊重社会の推進
	施策の展開内容	すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。
事務事業の目的 ・概要	自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。	
関連する市の計画等	我孫子市のいのちを支え合う自殺対策計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	我孫子市自殺対策庁内連絡会議	
	我孫子市自殺対策協議会	
	自殺対策啓発物配布	
	指 自殺対策計画策定事業	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	300	0	令和4年度 (年度末時点)	0.51	0.13	
令和5年度	当初予算額	3,703	0	令和5年度	4月1日時点	0.51	0.10
	補正後予算額	2,517	0		年度末時点	0.51	0.30
	決算額	2,390	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
成果 指標	研修会等に参加して、自殺予防 (対策) に関する知識を高めた人の割合	%	目標値	95	95	100	100	100
			実績値	100	100	98		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	庁内職員や民生委員対象に研修を行い、自殺予防に関する知識を高めることができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	現在も自殺を選択してしまう人が少数ではあるが一定数いるため、事業の継続が必要である。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	平和祈念事業	
	担当部署名	健康福祉部 社会福祉課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	8-3 平和社会の推進	
	施策の展開内容	「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆被爆国として記憶を風化させることなく後世に伝えるため、平和祈念式典を開催します。 ・戦没者に対し追悼の意をささげるとともに、二度と戦争を繰り返すことのないよう、恒久平和を市民と祈念するため、遺族会と協力し戦没者追悼式を継続して実施していきます。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	原子爆弾被爆者見舞金支給		
	戦没者追悼式		
	原爆被爆平和祈念式典の開催と平和の記念碑の管理		
	戦没者遺族への特別弔慰金取り扱い		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	1,154	0	令和4年度 (年度末時点)	0.30	0.10	
令和5年度	当初予算額	1,530	0	令和5年度	4月1日時点	0.30	0.10
	補正後予算額	1,255	0		年度末時点	0.35	0.10
	決算額	1,092	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	原子爆弾被爆者見舞金申請者への支給率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	特別弔慰金請求取り扱い率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果 指標	祈念式典参加人数の増加率	人	目標値	100	120	130	150	150
			実績値	100	70	70		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	式典は、当日の天気を考慮し、臨機応変に対応することができた。見舞金は対象者全員に支給することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	平和祈念式典は、令和6年度から屋内開催とし、委託をせず自前で行っていく。次世代に平和の大切さを伝えていく。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 健康づくり支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

- ・地域医療体制の維持を図るとともに、感染症対策に取り組めます。
- ・各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援します。
- ・特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。
- ・生活習慣病のリスクがある人に保健指導等に取り組めます。
- ・市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。
- ・子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。
- ・子どもが感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。

2. 課の目標への取組結果

- ・休日診療所を適切に開所・運営し、小児救急医療を含めた救急医療サービスの体制維持を図るとともに、感染症対策に取り組めました。
- ・広報や保健センターのご案内、保健センターだよりに加え、メールやLINE・フェイスブック等を活用し、健（検）診の周知啓発を行い、受診率向上に努めました。
- ・特定集団健診における初回面接の分割実施や、特定保健指導利用予約の電話の直接受付等を行い、保健指導の利用拡大を進めました。
- ・事業者や医療関係者・市民団体等と協力しながら、市民の健康意識向上につながるイベントを開催するほか、我孫子駅南口への階段利用促進啓発パネルの掲示、メールやLINE・フェイスブック等の活用により、生活習慣改善・健康維持増進のための情報提供を行いました。
- ・伴走型相談支援として妊娠届時及び新生児訪問時等の面談に加え、令和5年8月より妊娠8か月時面談を希望する方を対象に市内4か所の子育て支援センター見学会にて面談を実施し、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ相談支援を実施しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の流行が繰り返される中、新型コロナウイルスを含む予防接種の接種体制を確保しました。また、予防接種に関する情報提供や勧奨等を行い、接種率向上に努めました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

当初の予定どおり計画していた事業について遂行することができ、課の目標の達成に取り組んだと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

地域医療体制については、第一次救急を担う市内小児科医の不足が深刻であることから、継続して安定した医療体制を整備していく必要があります。今後も、健康寿命の延伸を目指し、引き続き事業を確実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	保健センターの維持管理	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	健康づくりに関する事業を実施するため、保健センターの適切な管理運営を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市保健センター・休日診療所長寿命化計画 (個別施設計画)		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	保健センターの事務管理		
	保健センターの維持管理		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度	人工		
					正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	22,481	0	令和4年度 (年度末時点)	1.60	1.68	
令和5年度	当初予算額	24,791	0	令和5年度	4月1日時点	1.67	2.05
	補正後予算額	23,216	0		年度末時点	1.67	1.65
	決算額	21,220	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	保健センター保守管理の執行率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	施設の老朽化に伴い故障等が発生した際は、適正な修繕等を行い、施設の維持管理に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	第2次心も身体も健康プランの推進	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	「心も身体も健康プラン」の進捗報告等を通して、目標値の達成状況を検証し、今後新たな取り組みが必要な分野や事業の検討を実施します。		
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	心も身体も健康プランの推進事業		
	心も身体も健康プランの策定		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	943	0	令和4年度 (年度末時点)	0.83	0.00	
令和5年度	当初予算額	6,131	0	令和5年度	4月1日時点	1.02	0.00
	補正後予算額	4,421	0		年度末時点	1.02	0.00
	決算額	4,373	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	健康づくり推進協議会の開催回数	回	目標値	1	1	2	4	1
			実績値	1	1	2		
成果 指標	計画に位置づけられた事業の目標達成・改善率	%	目標値	37	39	40	40	未定
			実績値	46	50	46		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も継続して、心も身体も健康プランの目標達成に向けて推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民の自主的な健康づくりの推進	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	市民の健康寿命の延伸を目指して、生活習慣の改善や生活習慣病の発生を予防する一次予防に重点を置き、健康や食育、歯と口腔の健康づくりに関するさまざまな取組を総合的かつ計画的に進めます。 ・各種健（検）診時や健康啓発事業などの開催、生活習慣を改善するための情報提供を通じて、市民の自主的な健康づくりを支援していきます。 ・特定健康診査やがん検診、脳ドックなどの生活習慣病予防対策に取り組むとともに、その重要性をPRし、受診率の向上を図ります。 ・生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組みます。 ・市民や事業者、関係機関と連携して地域ぐるみで啓発イベントを開催するなど健康づくりの推進を図ります。		
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン		
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	市民の自主的な健康づくりの推進事業		
	特定健診・特定保健指導等事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工（Plan & Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度	人工		
					正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	349,480	0	令和4年度（年度末時点）	9.00	3.85	
令和5年度	当初予算額	380,697	0	令和5年度	4月1日時点	9.57	3.58
	補正後予算額	376,276	0				
	決算額	361,636	0	令和5年度	年度末時点	9.57	3.47
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値（Plan & Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	胃がん検診受診者数	人	目標値	2,175	2,687	3,192	3,691	5,155
			実績値	984	1,062	1,054		
活動 指標	大腸がん検診受診者数	人	目標値	4,296	4,794	5,286	5,770	7,196
			実績値	3,187	3,142	2,977		
活動 指標	肺がん検診受診者数	人	目標値	3,076	3,583	4,082	4,574	6,023
			実績値	1,121	1,417	1,215		
活動 指標	乳がん検診受診者数	人	目標値	10,183	10,643	11,095	11,540	12,862
			実績値	4,044	4,325	4,049		
活動 指標	子宮頸がん検診受診者数	人	目標値	6,042	6,366	6,683	6,994	7,960
			実績値	4,538	4,742	4,624		
成果 指標	胃がん検診受診率	%	目標値	4.1	5.1	6.1	7.1	10.1
			実績値	1.9	2.0	2.0		
成果 指標	大腸がん検診受診率	%	目標値	8.1	9.1	10.1	11.1	14.1
			実績値	6.0	5.9	5.6		
成果 指標	肺がん検診受診率	%	目標値	5.8	6.8	7.8	8.8	11.8
			実績値	2.1	2.7	2.3		
成果 指標	乳がん検診受診率	%	目標値	19.2	20.2	21.2	22.2	25.2
			実績値	15.4	16.6	15.6		
成果 指標	子宮頸がん検診受診率	%	目標値	15.9	16.9	17.9	18.9	21.9
			実績値	11.9	12.4	12.0		

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	計画に位置づけられた事業の目標は未達成だが、周知・情報提供の機会を作り、当初の予定通り実施することができました。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	受診勧奨方法等を検討しつつ、今後も継続して受診率向上に向け、推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域医療体制の充実	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実に図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・休日でも初期的な医療を受けられるよう、関係機関と連携して休日診療所を運営します。 ・小児救急医療を含めた救急医療サービスをいつでも受けられるよう、かかりつけ医などの身近な医療から高度な最先端技術を提供する医療、広域的な医療連携を含めて医療体制を維持していきます。 ・かかりつけ医を持つことの有効性についての周知、症状の軽い人は休日や夜間診療を利用しないなど、救急医療利用の適正化に向けた啓発活動を行います。 		
関連する市の計画等	我孫子市保健センター・休日診療所長寿命化計画 (個別施設計画)		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	我孫子市休日診療所運営		
	救急医療整備事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	238,938	0	令和4年度 (年度末時点)	1.32	0.00	
令和5年度	当初予算額	117,047	0	令和5年度	4月1日時点	1.91	0.00
	補正後予算額	122,968	0		年度末時点	1.91	0.00
	決算額	122,156	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	災害医療対策会議の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
成果 指標	休日診療所が適切に開所された率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	当初の予定通り計画していた事業について遂行することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も継続して安定した医療体制を整備していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	感染症対策事業	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症にかかることやかった際の重症化を防ぐため、予防対策への啓発を行うとともに、予防接種や結核・肺がん検診などについての情報提供を行い、接種率、受診率の向上を図ります。 ・新たな感染症が発生した際には、予防接種の有効性が期待されることから、予防接種体制の構築に努めます。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	住民結核健康診査事業		
	感染症対策事業		
	指 新型コロナウイルスワクチン接種体制等確保事業		
	指 新型コロナウイルス感染症検査等実施事業		
	指 带状疱疹予防接種費用助成事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				令和4年度 (年度末時点)	令和5年度	正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	1,118,467	0	令和4年度 (年度末時点)		6.00	6.24
令和5年度	当初予算額	676,842	0	令和5年度	4月1日時点	4.70	3.02
	補正後予算額	526,136	0		年度末時点	4.70	5.26
	決算額	437,286	0				
	次年度へ繰越	34,630	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	結核・肺がん検診受診者数	人	目標値	4,936	5,363	5,792	6,224	7,541
			実績値	2,731	4,296	4,173		
成果 指標	結核・肺がん検診受診率	%	目標値	12.0	13.0	14.0	15.0	18.0
			実績値	6.5	10.2	10.0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	計画に位置づけられた事業の目標は未達成だが、周知・情報提供の機会を作り、当初の予定通り実施することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	受診勧奨方法等を検討しつつ、今後も継続して受診率向上に向け、推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び担当部署等	事務事業名	親と子の健康づくりの推進	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的・概要	子どもの健やかな成長のため、妊産婦や親子への健康診査や相談などを通して、育児不安の軽減、親子の疾病の早期発見と早期治療・療育など、健康の保持増進につなげる取組を進めます。		
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン、子ども総合計画		
当該年度実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	親と子の健康づくり推進事業		
	産後ケア事業		
	指 多胎妊婦健診費用助成事業		
	低所得の妊婦に対する妊娠判定料支援事業		
	指 不育症治療等費用助成事業		
	3歳児健康診査		
	妊娠届出書提出時面接業務		
	指 出産・すくすく子育て応援金の給付		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	174,521	0	令和4年度 (年度末時点)	8.85 / 4.21	
令和5年度	当初予算額	203,472	21,200	令和5年度	4月1日時点	8.71 / 6.35
	補正後予算額	187,707	21,200		年度末時点	8.71 / 5.22
	決算額	174,736	19,200			
	次年度へ繰越	0	0			

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動指標	新生児訪問実施家庭数	件	目標値	759	744	727	711	661
			実績値	681	620	669		
成果指標	訪問希望者への訪問率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	すくすく子育て応援金の給付において産後の面談が必須となったことや、出産後も電話で訪問の勧奨に努めたため、新生児訪問実施家庭数は増加しました。また、訪問率は目標値である100%を達成しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	妊産婦・新生児・乳児等の健康の増進維持のため、必要な指導及び助言を行い母子保健に関する知識の普及を図るとともに育児不安の軽減を図るため必要な事業であるため、今後も、現状どおり事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び担当部署等	事務事業名	小児等予防接種事業	
	担当部署名	健康福祉部 健康づくり支援課	
基本計画における位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的・概要	子どもが感染症にかかることやかかった際の重症化を防ぐため、予防接種についての十分な情報提供を行い、予防接種法に基づく定期接種の接種率を向上させる取組を進めます。		
関連する市の計画等	第2次心も身体も健康プラン、子ども総合計画		
当該年度実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	小児等予防接種事業		
	HPVワクチンキャッチアップ接種既接種者助成事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	247,746	0	令和4年度 (年度末時点)	1.60	0.83	
令和5年度	当初予算額	265,464	0	令和5年度	4月1日時点	1.60	1.07
	補正後予算額	262,706	0		年度末時点	1.60	1.02
	決算額	260,983	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動指標	BCG接種件数	件	目標値	759	744	727	711	661
			実績値	740	682	647		
成果指標	BCG接種率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.5	98.7	99.7		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	接種勧奨等を実施し、成果指標は目標の100%に近い数値となり、順調に活動の成果が表れました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	感染症から子どもの健康を守るため、乳幼児・小中学生が国が定める定期の予防接種を受けることは、感染症の発病、重症化予防及び集団感染の予防の視点から必要な事業であることから、今後も推進をしていきます。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 障害者支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・令和3年度からスタートした障害者のための施策に関する基本的な事項を定めた「第3期我孫子市障害者プラン」に基づき施策や事業を推進していきます。また、市民、当事者団体、事業者からアンケート調査を実施し、次期障害者プランの策定をします。

・身近な地域できめ細かい相談支援を実施するため、市内5か所の障害者まちかど相談室と連携を図り相談支援を充実させていきます。

・障害のある方が、住み慣れた地域で生活を送ることができるように、障害福祉事業者との協力体制により、日中活動の場や生活の場の確保と充実に努めます。

・千葉県より事業所指定の権限移譲を受けた、居宅介護、共同生活援助、短期入所等の事業所について、専門的、技術的支援を行うとともに、安定的な運営が継続できるよう支援していきます。

・障害のある方の成年後見制度の利用促進に向けた取り組みを行い、権利擁護事業の推進を図ります。

2. 課の目標への取組結果

障害福祉事業所が、適切なサービスを提供することで、障害のある方が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるように、障害福祉事業者向けの集団指導及び実地指導を行いました。また、若年がん患者に対する福祉用具購入費及び貸与費の助成を行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

『「自分らしく」を応援するまちあびこ』の基本理念を実現し、障害福祉サービスのさらなる充実を図るため、国が示す基本指針に即して、第4期我孫子市障害者プランを策定しました。あらかき園については、令和6年度に我孫子市障害者福祉施設等個別施設計画に基づく大規模工事を実施するため、設計委託を行いました。また、チャレンジドオフィスを開設し、一般就労に向けた訓練を行うため、3名の障害者を採用しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための相談機能を充実させるため、地域生活支援拠点の整備を進めます。あらかき園では、我孫子市障害者福祉施設等個別施設計画に基づく大規模工事を実施します。また、令和5年度に開設したチャレンジドオフィスの対象者を3名から4名に増員し、さらなる障害者雇用の促進を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者プランの策定・推進	
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市第6次健康福祉総合計画、第3期我孫子市障害者プラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	障害者プランの策定		
	自立支援協議会の運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	0.40	0.00	
令和5年度	当初予算額	448	0	令和5年度	4月1日時点	0.70	0.00
	補正後予算額	448	0		年度末時点	0.70	0.00
	決算額	297	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	障害者プランに位置付けている障害者サービス等の見込量の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	101	106			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	障害福祉サービスを提供する事業所の増加や民間事業所の参入により、サービスの質の確保、人材確保が課題となっており、継続して事業所の体制整備に取り組むことが求められる。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者を取り巻く状況や法整備の動向を的確に踏まえ、関係者の意見を反映しながら総合的な支援体制を充実していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害福祉サービスに関する相談・支援の実施	
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などからの相談に対し、専門的・総合的に対応するとともに、障害・子ども・高齢・医療などの関係機関と連携し、支援していきます。		
関連する市の計画等	我孫子市第6次健康福祉総合計画、第3期我孫子市障害者プラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	日中一時支援事業		
	障害者移動支援事業		
	日常生活用具給付事業		
	障害者地域相談支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	240,381	0	令和4年度 (年度末時点)	9.15 / 6.15
令和5年度	当初予算額	248,292	0	令和5年度 4月1日時点	8.95 / 5.85
	補正後予算額	252,615	0		
	決算額	244,085	0	令和5年度 年度末時点	8.95 / 6.25
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	障害者手帳と自立支援医療(精神通院) 受付件数	件	目標値		8,400	8,500	8,600	8,900
			実績値	8,406	8,504	8,825		
活動 指標	日常生活用具給付決定件数	件	目標値		3,200	3,250	3,300	3,450
			実績値	3,154	4,139	3,277		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	必要に応じた支援が適切に提供できていると評価できる。今後もニーズは増加していくと見込まれるため、引き続き継続する必要がある。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者手帳所持者数や日常生活用具利用者数は個々の事情に基づき変動するが、全体として増加傾向にある。対象者の増減に関わらず、障害により支援が必要な状態となった方に対し、速やかに相談や支援を提供できるよう、事業を継続していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者への経済的支援	
	担当部署名	健康福祉部 障害者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	障害のある人やその家族などが安心して暮らせるよう、経済的な負担を軽減する支援を行います。		
関連する市の計画等	我孫子市第6次健康福祉総合計画、第3期我孫子市障害者プラン		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	重度障害者(児)医療費給付事業		
	特別障害者手当		
	障害児福祉手当		
	我孫子市福祉手当		
	補装具給付事業		
	更生医療給付事業		
	障害者自立支援給付事業		
	障害者福祉システムの更新		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	2,776,349	0	令和4年度 (年度末時点)	4.75 / 3.15
令和5年度	当初予算額	3,000,653	0	令和5年度 4月1日時点	5.10 / 3.15
	補正後予算額	3,057,542	0		
	決算額	3,010,851	0	令和5年度 年度末時点	5.10 / 3.15
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	障害福祉サービス延利用人数	人	目標値		16,500	17,000	17,500	19,000
			実績値	15,675	17,168	18,271		
活動 指標	補装具給付決定件数	件	目標値		310	320	330	360
			実績値	290	295	297		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	障害のある方やその家族が、地域で安心して暮らし、自立を目指すような環境を整えることが出来たことから、おおむね指標どおり事業を遂行することが出来た。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	多くの障害者は各種手当や年金、少額の福祉的就労工賃で得た収入で生活していることから、経済的な負担を軽減する事業は重要である。また、地域で自立した生活を営む為には、充実した福祉サービスを提供する必要があることから、事業を推進していく。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 あらき園

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

あらき園では、障害者の日中活動の場として、日常生活において常時介護が必要な方に対し、食事や排せつの支援や、その他、機能訓練、体力づくり、創作的活動、季節に合わせた行事、各種余暇活動などの支援を行う生活介護事業を継続して実施していきます。

市で推進する地域生活支援拠点等事業においては、市内のどの福祉サービス事業所でも質の高いサービスが提供できるようにあらき園から専門職員を派遣し、技術的支援を行うことで「専門的人材の確保・育成」を行い、基幹施設としての役割を担います。

我孫子市の障害者支援の基幹施設・重度障害者のセーフティネット・災害時の指定福祉避難所として事業に取り組んでいきます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。また、個別施設計画に基づき、長寿命化を目的とした施設改修工事の設計を行いました。社会福祉事業基金を活用した「乗馬体験プログラム」「摂食嚥下機能に関する講演会」を実施し、利用者支援の充実をはかりました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

障害者の日中活動の場として、日常生活において常時介護が必要な方に対して、食事や排せつの支援や、その他、機能訓練、体力づくり、創作的活動、季節に応じた行事、各種余暇活動の支援を行う生活介護事業を継続して実施しました。

利用者個々の障害特性を配慮し、安定して過ごせるようサービスの提供を行いました。

サービスの提供にあたっては、個々のニーズをくみ取れるよう家庭や相談支援事業所と連携し情報や支援方針の共有を行いました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

多様化、重度化、重複化、高齢化する利用者への支援並びに専門職による他施設への技術支援に対応できるように人員の確保と専門職の確保が必要となってきます。また、利用者の医療的ケアに対応していくために、職員体制を整えておく必要があります。

併せて、安全にサービスを提供していくために、施設の老朽化に対応した大規模改修を実施します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	生活介護対象者支援事業
	担当部署名	健康福祉部 あらき園
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-4 障害者福祉の推進
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活上の支援が必要な障害のある人に対し、食事や排泄などの介護を行うとともに、軽作業などの生産活動や創作活動の機会を提供していきます。 障害に対する理解を深めるために、ボランティアなどの受け入れや地域住民との交流を推進します。 	
関連する市の計画等	「第6次健康福祉総合計画」、「第3期障害者プラン（障害者計画・障害福祉計画）」、「我孫子市障害者福祉施設等個別施設計画」、第5次行政改革推進プラン（福祉3施設の給食調理機能の最適化）	
当該年度 実施事業（Plan） 指：指定事務事業	利用者の健康管理	あらき園給排水設備改修工事事業
	利用者送迎サービス	あらき園食堂棟屋根及び外壁等改修工事事業
	給食サービス	あらき園本館棟換気設備更新工事事業
	支援技術の向上	あらき園送迎車両購入事業
	リスクマネジメント	摂食嚥下支援技術向上事業
	地域交流	リハビリテーション支援技術向上事業
	福祉人材の育成	アニマルセラピー事業
	あらき園施設の維持管理	あらき園・こども発達センター厨房施設あり方検討
	指 あらき園の老朽化対策	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工（Plan&Do）

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	105,219	0	令和4年度（年度末時点）	11.20 / 24.00	
令和5年度	当初予算額	78,075	0	令和5年度	4月1日時点 / 年度末時点	
	補正後予算額	75,799	0			9.15 / 23.10
	決算額	71,987	0			10.85 / 23.45
	次年度へ繰越	0	0			

3. 指標及び実績値（Plan&Do）

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	出席率	%	目標値	100	85	85	85	85
			実績値		81	80	80	
活動 指標	個別対応食の対応率（全利用者に対する個別対応食利用者数の割合）	%	目標値		80	82	83	85
			実績値	80	80	81		
活動 指標	摂食嚥下スーパードバイザーによる巡回給食指導を受けた延べ件数	件	目標値		30	30	30	30
			実績値	25	22	25		
成果 指標	利用者(保護者)の通所満足度	%	目標値		75	76	77	80
			実績値	75	76	75		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価（Check）

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	実績値については、活動指数の内容によって達していない活動もありますが、ほぼ達成されています。

5. 今後の方向性（Action）

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	実績値については、活動指数の内容によって達していない活動もありますが、コロナ禍が落ち着き、今後通常の活動となることで、活動指数の実績値が上昇していくと思われます。今後の課題としては、多様化、重度化、重複化、高齢化する利用者への対応について対応方法を検討していく必要があります。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 障害者福祉センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

・地域活動支援センター事業では、障害のある方の自立と社会参加を促進するため、各種訓練を実施します。

・自立訓練（生活訓練）では、障害のある方の社会生活力を高めるための訓練を実施します。

・基幹機能強化事業では、民間の福祉施設の職員に対し、専門職による技術支援等を行います。

・障害のある方の社会参加を促進するため、手話講習会の開催、市内のバリアフリー情報の提供、失語のある人向け意思疎通支援者の派遣を実施します。

・障害者就労支援センターでは、障害者が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるように、新たにチャレンジドオフィスあびこを開設して障害者の雇用の促進と、職場定着を支援します。

・障害者就労支援センターが中核となって、特別支援学校、ハローワーク、市内外の福祉施設等と連携し、支援体制の構築、強化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

障害者福祉センター、障害者就労支援センターの目標で示したとおり、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

民間の福祉施設と連携を図りながら、障害のある方々の自立と社会参加の促進を図ることができました。

障害者の就労に関わる関係機関と連携しながら、障害者の職場定着を図ることができました。また、障害者の雇用の促進のため、チャレンジドオフィスあびこを開設しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

障害者福祉センターは、今後、施設の利用を終了することに向け、関係機関と協議を重ねながら、実施している各事業について方針を決定していきます。

障害者就労支援センターは、令和5年度の取り組み、チャレンジドオフィスあびこの運営を継続していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者の社会参加・自立支援	
	担当部署名	健康福祉部 障害者福祉センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-4 障害者福祉の推進	
	施策の展開内容	障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共施設やサービス提供機関、市民団体などと連携を図り、障害のある人が自立できるよう、日常生活訓練や運動機能訓練を行います。 障害のある人がイベントなどに参加できるよう支援し、障害に対する理解を深めます。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	自立訓練 (生活訓練) 事業		利用者送迎支援
	バリアフリー 情報提供事業		地域活動支援センター事業
	基幹機能強化事業		
	失語のある人向け意思疎通支援者の派遣		
	手話講習会		
	障害者 (本人及び団体) やボランティアに対する支援		
	障害者スポーツ大会		
	障害者福祉センターの維持管理		
	相談支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度	人工		
					正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	24,910	0	令和4年度 (年度末時点)	3.20	5.10	
令和5年度	当初予算額	16,494	0	令和5年度	4月1日時点	3.10	4.30
	補正後予算額	15,165	0		年度末時点	3.10	3.50
	決算額	14,510	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	地域活動支援センター事業の訓練参加人数	人	目標値	80	70	60	50	0
			実績値	80	71	56		
活動 指標	自立訓練 (生活訓練) の利用者の訓練参加人数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	1	0		
成果 指標	地域活動支援センター事業利用者の社会参加者数	人	目標値	30	25	20	15	0
			実績値	33	23	21		
成果 指標	自立訓練 (生活訓練) の利用者のうち、社会参加を果たした人数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	4	1	0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	民間施設等と連携を図りながら社会参加支援ができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を縮小する	今後、施設の利用を終了することに向け、障害者福祉センターで実施している各事業について方針を決定していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施	
	担当部署名	健康福祉部 障害者福祉センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	4-2 就労支援の充実	
	施策の展開内容	関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実に努めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者を雇用する事業者を支援し、障害者の雇用を促進していきます。 ・障害のある人がそれぞれの能力や特性に応じて安定して働き続けられるよう、就労に関する個別相談や定着のための支援などを実施するとともに、事業者や社会福祉法人などの関係機関と連携し、就労支援体制を強化します。 		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	指	障害者の一般就労に関する相談・支援の実施	
		障害者就労支援体制の構築	
		指 チャレンジドオフィスあびこの実施	
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	0	0	令和4年度 (年度末時点)	1.80 / 0.50	
令和5年度	当初予算額	201	0	令和5年度	4月1日時点	1.80 / 5.40
	補正後予算額	139	0		年度末時点	1.80 / 5.40
	決算額	135	0			
	次年度へ繰越	0	0			

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	支援対象者数	人	目標値	210	210	215	215	220
			実績値	217	184	176		
活動 指標	チャレンジドオフィスあびこスタッフ数 (令和5年度開始)	人	目標値			3	4	5
			実績値			3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	就労に関する個別相談や就労定着支援、会議の開催等を行い、関係機関と連携強化を図りながら支援を行いました。障害者雇用の促進のためチャレンジドオフィスあびこを開設しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	障害者の雇用を促進するために、チャレンジドオフィスあびこの運営、就労支援センターの事業を継続します。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 高齢者支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○3年目となる「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画」に基づく事業を引き続き推進するとともに、令和4年度に実施した多様なアンケート集計結果を活用し、次期計画策定を進めます。また、在宅医療と介護の連携、認知症対策、健康寿命延伸施策を推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケア体制の充実を図ります。さらに、地域住民をはじめとする多様な主体がつながり、活動する地域共生の取組を推進します。

○高齢者支援課、国保年金課、健康づくり支援課の三課連携により、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を推進します。

○介護保険料の多様な納付方法について周知し利便性に努め収納率を上げ安定的に運営します。

○災害や感染症対策にかかる支援体制の充実・強化を図ります。

2. 課の目標への取組結果

○「第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画」に基づき各事業を推進するとともに、「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」を策定しました。高齢者がその有する能力に応じて自立した生活ができるよう、在宅医療と介護の連携、認知症対策などを推進し、日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの充実を図りました。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取組を推進し、フレイル予防等の普及啓発活動を実施しました。また、健康状態が不明な高齢者等の健康状態の把握に努め、医療や介護サービスにつなげ、疾病予防・重症化予防に努めました。

○介護保険料の多様な納付方法については、スマートフォン等で対象のアプリを利用し、いつでもどこでも簡単に介護保険料の納付ができるスマートフォン決済を導入しました。

○浸水想定区域や土砂災害警戒区域の介護保険施設において避難確保計画の策定について支援するとともに避難訓練の実施を促進しました。さらに、感染症や自然災害が発生した場合であっても介護サービスが安定的・継続的に提供できるよう、介護施設や事業所に対して策定が義務化された業務継続計画の作成について支援しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

当初の予定どおり「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」に基づき事業を推進したことにより、課の目標達成に向けた取り組みがおおむねできたと評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後も高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域包括ケアシステムのさらなる深化を目指し、引き続き事業を確実に推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	成年後見制度利用の支援	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-1 地域福祉の推進	
	施策の展開内容	子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。	
事務事業の目的 ・概要	認知症や障害の状態にともない判断能力が低下し、生活に支障が生じている人が尊厳を持って生活できるよう、成年後見制度活用に対する支援を実施します。		
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	成年後見制度利用への支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	6,183	0	令和4年度 (年度末時点)	0.55	0.40	
令和5年度	当初予算額	7,159	0	令和5年度	4月1日時点	0.60	0.25
	補正後予算額	8,648	0		年度末時点	0.30	0.25
	決算額	7,949	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	成年後見制度等に係る相談対応件数	件	目標値	なし	480	490	500	530
			実績値	586	601	614		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	相談に適宜対応し、成年後見制度の手続きを行える親族が不在の方には市が申立て手続きを行い、滞りなく実施することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も認知症の高齢者は増加が見込まれるため、制度の周知を一層図るとともに現状通り推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-3 高齢者福祉の推進
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。
事務事業の目的 ・概要	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、地域で住民同士が交流できる場や健康づくりに参加できる環境を整えるとともに、就労機会の確保に努めます。	
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画、第9次高齢者保健福祉計画、第5次行政改革推進プラン(老人福祉センターのあり方検討) 他	
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	きらめきデイサービスの促進	
	シルバー人材センターへの支援	
	老人福祉センターの運営	
	敬老祝金の贈呈	
	高齢社会への対応を探る事業の推進	
	老人クラブ活動の充実	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	116,612	0	令和4年度 (年度末時点)	0.90	0.50	
令和5年度	当初予算額	124,819	0	令和5年度	4月1日時点	2.30	1.00
	補正後予算額	120,469	0		年度末時点	2.30	0.70
	決算額	119,898	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	会員数(シルバー人材センター)	人	目標値	784	800	800	800	800
			実績値	615	614	594		
活動 指標	贈呈者数(敬老祝金)	人	目標値	716	762	808	808	808
			実績値	732	737	882		
活動 指標	イベント等の来場者数(高齢社会への対応を探る会)	人	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	457	668	767		
活動 指標	会員数(老人クラブ)	人	目標値	2,010	2,010	2,010	2,010	2,010
			実績値	1,670	1,539	1,389		
活動 指標	年間延べ利用者数(老人福祉センター2施設合計)	人	目標値	65,700	65,900	66,100	66,100	66,100
			実績値	11,742	25,363	40,692		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響から、徐々に回復してきている事業と前期高齢者の生活様式の変化や後期高齢者の増加などにより目標値に届かない事業があるが、市内の高齢者の年齢構成や60代の就労状況を鑑みれば概ね順調であると考えられる。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	老人福祉センターの運営事業については、コロナ禍を経て利用者数は徐々に回復しているものの、高齢者の生活様式の変化等により、コロナ禍以前と比較すると利用者の減少及び固定化が進んでいます。また、施設の老朽化等により維持コストの更なる増加が見込まれていることから、今後の施設の最適な在り方について検討します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	介護予防の推進	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	高齢者が介護予防の必要性を理解し、身近な地域で自ら介護予防に取り組むことができる環境を整えるとともに、適切なサービスなどにつなぐことで疾病予防・重症化予防を推進します。		
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	一般介護予防事業の推進		
	介護予防・生活支援サービス事業の推進		
	介護予防マネジメントの管理		
	地域介護予防活動の支援		
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	282,419	0	令和4年度 (年度末時点)	5.00	3.20	
令和5年度	当初予算額	291,727	0	令和5年度	4月1日時点	2.90	3.60
	補正後予算額	318,181	0		年度末時点	2.90	3.60
	決算額	312,763	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	遊具うらんど教室・介護予防教室・出前講座・講演会の参加者数	人	目標値	1,250	1,270	1,290	1,290	1,290
			実績値	1,214	1,376	1,980		
活動 指標	要介護認定に至らない高齢者の増加 (1号被保険者の介護保険認定率/推定値)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99	97	98		
活動 指標	介護予防強化型きらめきディサービスへの参加者数	人	目標値	12,720	13,440	14,040	14,040	14,040
			実績値	6,504	7,552	7,738		
活動 指標	一体的実施ポピュレーションアプローチにおけるフレイル予防の理解度	%	目標値	95	95	95	95	95
			実績値	99	99	99		
活動 指標	介護保険ボランティアポイント制度の登録者数	人	目標値	580	590	600	610	620
			実績値	450	410	384		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	目標値を上回る事業、徐々に回復してきている事業、これから回復が見込まれる事業等があるが、コロナ禍からの回復途上であることを考慮すると概ね順調である。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	高齢者や要介護 (要支援) 認定者の増加が見込まれるなか、多くの高齢者に介護予防の知識の普及をするとともに、早い段階から介護予防への取り組みが重要であることから、今後も継続して知識の普及啓発や地域の高齢者の活躍できる機会を確保していく必要がある。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者のための地域福祉の推進	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者やその家族からの相談に対して、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援を実施します。 ・高齢者の意思を尊重した最適なサービスが利用できるよう、介護サービス計画に係る情報の共有とケアマネジャーの資質の向上を図ります。 		
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	ケアマネジャー支援事業		
	高齢者なんでも相談室の運営・支援		
	地域ケア会議の開催		
	生活支援体制整備事業の推進		
	高齢者虐待防止		
	社会福祉法人介護サービス利用料減免の充実		
	新型コロナウイルス感染症への対策事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	206,048	0	令和4年度 (年度末時点)	4.80	2.50	
令和5年度	当初予算額	185,453	0	令和5年度	4月1日時点	6.00	2.00
	補正後予算額	184,905	0		年度末時点	4.60	1.70
	決算額	163,334	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	地域包括ケア会議の開催回数	回	目標値	15	18	21	24	33
			実績値	18	23	28		
成果 指標	市内全指定居宅介護支援事業者への相談支援数 (市内6高齢者なんでも相談室での相談件数)	件	目標値	500	510	520	530	540
			実績値	1,317	713	2,020		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	高齢者数の増加に比例して困難事例の相談も増加傾向にあり、地域包括ケア会議も適宜開催し、順調に実施することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後も相談対応件数の増加が見込まれるため、現状通り推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	高齢者在宅支援事業
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-3 高齢者福祉の推進
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。
事務事業の目的 ・概要	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、市民団体や福祉サービス事業所など、あらゆる主体と協力しながら、身近な場所で必要な生活支援サービスを利用できる環境をつくります。	
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画、第9次高齢者保健福祉計画、第5次行政改革推進プラン（老人福祉電話の検討、住宅改造事業の検討、緊急通報システムの最適化、配食サービスのあり方検討、住み替え助成制度のあり方検討） 他	
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	居宅介護支援助成	
	住宅改造事業の拡大	
	老人福祉電話の推進	
	緊急通報システムの充実	
	高齢者移送サービスの促進	
	高齢者賃貸住宅住み替え助成事業の推進	
	在宅医療・介護連携推進事業	
	配食サービス	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	17,714	0	令和4年度 (年度末時点)		2.90	0.30
令和5年度	当初予算額	29,040	0	令和5年度	4月1日時点	0.65	0.20
	補正後予算額	23,933	0		年度末時点	0.55	0.20
	決算額	22,594	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	助成件数 (居宅介護支援助成)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
活動 指標	助成件数 (住宅改造)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	1	0		
活動 指標	設置者数 (緊急通報システム)	人	目標値	210	210	210	210	210
			実績値	192	192	179		
活動 指標	助成件数 (高齢者移送サービス)	件	目標値	3,450	3,460	3,470	3,470	3,470
			実績値	2,775	2,900	2,738		
活動 指標	助成件数 (高齢者賃貸住宅住み替え助成)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
活動 指標	年間延べ貸与台数 (老人福祉電話)	台	目標値	13	12	12	12	12
			実績値	14	16	13		
活動 指標	年間延べ配食数 (配食サービス)	食	目標値	26,700	26,800	26,800	26,800	26,800
			実績値	26,002	22,060	23,977		

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	後期高齢者の増加などにより要介護認定の状況や生活状況が変化し、目標値に届かないと考えられる事業があるが、市内の高齢者の年齢構成を鑑みれば概ね順調であると考えられる。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	要介護認定の状況や生活状況が変化することに伴い、サービスなどの要望も変化していくと考えられる。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには必要な事業であり、内容については適宜、見直していく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	認知症高齢者の支援	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	認知症高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症の早期発見、早期支援を行うとともに、認知症を正しく理解し、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を進めます。		
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	SOSネットワーク事業		
	徘徊探知システム		
	認知症高齢者グループホーム利用料助成事業の推進		
	認知症早期発見事業		
	認知症地域支援推進事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	7,894	0	令和4年度 (年度末時点)		1.80	0.10
令和5年度	当初予算額	11,198	0	令和5年度	4月1日時点	1.50	0.05
	補正後予算額	11,198	0		年度末時点	1.40	0.05
	決算額	9,373	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	認知症に関する相談受付件数	件	目標値	710	720	730	740	750
			実績値	628	820	835		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	認知症に関する相談は増加傾向にあり、内容に応じて医療・介護サービス等の情報提供、調整を図り、順調に実施することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	認知症の人の増加に対応するため、認知症に関する啓発・制度周知・ネットワーク構築を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	社会福祉施設入所支援	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-3 高齢者福祉の推進	
	施策の展開内容	高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。 また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅での生活が困難な高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためのサービスを提供する社会福祉施設の整備を進めます。 ・高齢者の状態に応じて、適切な施設に入所できるよう支援します。 		
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画、第9次高齢者保健福祉計画 他		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	社会福祉施設の整備		
	特別養護老人ホーム・養護老人ホーム入所措置		
	指 広域型特別養護老人ホームの整備		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	21,863	5,980	令和4年度 (年度末時点)	0.45 / 0.20	
令和5年度	当初予算額	25,360	0	令和5年度	4月1日時点	0.45 / 0.30
	補正後予算額	51,658	0		年度末時点	0.35 / 0.20
	決算額	49,664	0			
	次年度へ繰越	0	0			

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	措置者数 (養護老人ホーム)	人	目標値	8	9	9	9	9
			実績値	8	6	7		
活動 指標	措置者数 (やむを得ない事由)	人	目標値	8	9	9	9	9
			実績値	19	15	13		
活動 指標	第8期介護保険事業計画に基づき整備する特別養護老人ホームの整備	箇所	目標値	0	0	0	1	0
			実績値	0	0	0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	措置や、やむを得ない措置が必要な高齢者の生活と権利を守るために、必要な高齢者に対して迅速に居宅サービスを提供することができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後後期高齢者が徐々に増えていく中で、施設入所者の待機者数が増大しないよう施設整備を進めていく。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	介護保険制度の運営	
	担当部署名	健康福祉部 高齢者支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、要支援・要介護者の状態に合わせた認定とサービスの質の向上に努めます。 介護保険制度を健全に運営するため、納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、保険料の収納率向上を図ります。 		
関連する市の計画等	第8期介護保険事業計画・第9次高齢者保健福祉計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	介護保険に関する苦情・相談窓口	地域密着型サービス事業者の指定・指導・監督事務	
	介護保険サービスの適正化	介護保険事業計画の推進	
	介護保険賦課徴収	介護相談員派遣	
	住宅改修費・福祉用具購入費支給	居宅介護支援助成	
	居宅介護サービス等給付	介護保険事業計画の策定	
	高額介護サービス費等支給		
	介護保険受給資格・管理運営		
	介護認定審査会 介護認定調査		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	10,035,469	0	令和4年度 (年度末時点)	7.39 / 17.32
令和5年度	当初予算額	11,275,022	0	令和5年度 4月1日時点	7.20 / 16.80
	補正後予算額	10,851,786	0		
	決算額	10,742,760	0	令和5年度 年度末時点	7.20 / 18.40
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	認定申請件数	件	目標値	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
			実績値	5,379	5,319	5,696		
活動 指標	介護給付の適正化 (認定データと給付データの 突合件数)	件	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	5,507	6,064	6,113		
活動 指標	介護相談員の活動派遣施設数	施設	目標値	29	29	29	29	29
			実績値	0	0	0		
成果 指標	要介護認定申請日から30日以内に決定した割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	12	8	5		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	概ね想定通りである。介護相談員については令和6年度に活動再開予定である。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	今後、高齢者数増加による介護サービスへのニーズが高まる中で、介護を必要とする人に適切なサービスを提供できるよう、引き続き事業を確実に推進していく。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 健康福祉部 国保年金課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

◎国民健康保険事業は、被保険者の高齢化や医療技術の進歩などに伴い一人当たりの保険給付費の増加傾向が続いている中、被保険者が安心して生活できるように必要な保険給付を適正に行っていきます。また、保健事業にあたっては、第2期データヘルス計画に基づいた糖尿病性重症化予防事業や生活習慣病予防事業などの保健事業を推進するとともに、短期人間ドックなどの助成事業においても適正に実施し、生活習慣病予防に努めます。

特定健康診査・特定保健指導事業についても、受診率の向上を目指し健康づくり支援課と連携を図っていきます。

なお、「第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画」は令和5年度をもって計画期間が満了となるため、次期計画の策定に取り組みます。

国民健康保険税は、事業を安定的に運営していく上で重要な財源であることから、公平かつ公正に賦課するとともに、徴収対策を強化して徴収率向上を図り、滞納世帯の減少に努めます。

さらに、国民健康保険の広域化については、引き続き保険者である県と連携し円滑な運用が図られるよう迅速な対応に努めるとともに、県が算定する標準保険税率や納付金を参考に保険税率の検討を進め、適切に対応していきます。

◎後期高齢者医療制度については、被保険者が安心して医療を受けられるよう千葉県後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、きめ細やかな対応や情報提供を行うとともに、制度の運営が適切かつ円滑に行われるよう努めます。

◎国民年金事務については、資格の得喪届出や裁定請求の受理・審査などの法定受託事務及び年金の納付記録に関する問い合わせなどについて、松戸年金事務所と連携を図りながら丁寧な対応に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取組を実施しました。なお、保健事業については、効果的・効率的な実施を図るため、令和6年度を始期とする「第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」を策定しました。また、国民健康保険の広域化については、県が算定する標準保険税率や納付金を参考に保険税率の検討を進めた結果、令和6年度の税率改定を決定しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

国民健康保険の被保険者の多くは、年齢構成が高く、所得については低い傾向にあります。また、医療技術の高度化や高齢化の進展から一人当たりの医療費は年々高くなっています。被保険者が必要な医療を安心して受けられるよう健全な運営を目指すため、主たる財源である国民健康保険税や後期高齢者医療保険料の収納率の向上を図るとともに、データヘルス計画に基づいた各種事業を実施し、被保険者の健康寿命の延伸を目指した上で医療費の適正化を図ることが重要であると考えます。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

今後も引き続き各制度を適切かつ円滑に運営するため各種事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	市民の自主的な健康づくりの推進 (国保)	
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-2 健康づくりの推進	
	施策の展開内容	健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。 また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。	
事務事業の目的 ・概要	生活習慣病のリスクがある人に保健指導や受診勧奨を行うなど、重症化予防対策に取り組みます。		
関連する市の計画等	第2期我孫子市国民健康保険データヘルス計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	糖尿病性腎症重症化予防事業		
	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		
	特定健康診査未受診者対策事業		
	特定保健指導未利用者対策事業		
	健康課題に応じた健康づくり事業の連携		
	後期高齢者医療被保険者の保健事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	131,154	0	令和4年度 (年度末時点)		2.20	0.80
令和5年度	当初予算額	154,818	0	令和5年度	4月1日時点	3.25	0.80
	補正後予算額	143,856	0				
	決算額	128,522	0		年度末時点	3.25	0.80
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	保健指導参加勧奨通知の発送割合【糖尿病性腎症重症化予防事業】	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	受診勧奨通知の発送割合【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業】	%	目標値	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100
			実績値	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100	【糖】100 【生】100		
活動 指標	受診勧奨対象者のうち、電話番号を把握している者への電話勧奨実施率【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診】	%	目標値	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20	【糖】40 【生】20
			実績値	【糖】59.0 【生】44.9	【糖】90.7 【生】28.7	【糖】100 【生】100		
活動 指標	後期高齢者医療被保険者に対するはり・きゅう利用率	%	目標値	95	96	97	97	97
			実績値	47	51	50		
成果 指標	保健指導完了者のうち、検査結果が維持または改善した者の割合【糖尿病性腎症重症化予防事業】	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	75	67	33		
成果 指標	受診勧奨対象者のうち、受診を再開した者の割合【糖尿病性腎症重症化予防事業、生活習慣病治療中断者受診勧奨事業】	%	目標値	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10	【糖】10 【生】10
			実績値	【糖】14 【生】17	【糖】8.6 【生】5.3	【糖】9.5 【生】17.4		
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	引き続き、目標達成を目指して取り組んでいく。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	数値が向上した指標がある一方で、悪化したものもあった。現在の目標値を基準に、安定した成果を上げることを目指すようにしたい。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民健康保険制度の運営	
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	国民健康保険制度を健全に運営するため、国民健康保険税率や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、国民健康保険税の収納率向上を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	国保税の啓発		
	国保税の収納		
	国保税の滞納整理		
	国保税の賦課		
	国保運営協議会		
	国民健康保険窓口業務等の委託事業		
	被保険者証・受給者証の交付更新		
	保険給付事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	11,089,187	0	令和4年度 (年度末時点)	9.97 / 9.60
令和5年度	当初予算額	11,785,918	0	令和5年度 4月1日時点	10.75 / 9.60
	補正後予算額	11,441,248	0		
	決算額	11,261,208	0	令和5年度 年度末時点	10.75 / 9.60
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	来庁に対する民間事業者の窓口受付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な国民健康保険事業の運営ができた。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	国民健康保険制度を健全に運営するため資格や賦課の適正化に努めるとともに、保険税の徴収率の向上を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	後期高齢者医療制度の運営	
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	後期高齢者医療制度を健全に運営するため、保険料や負担割合などについて、被保険者に対して丁寧な説明と正確な情報提供を行っていくとともに、保険料の収納率向上を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	後期高齢者医療窓口業務等の委託事業		
	後期高齢者医療広域連合負担金		
	後期高齢者医療事務		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	3,744,089	0	令和4年度 (年度末時点)	2.75	0.80	
令和5年度	当初予算額	3,951,638	0	令和5年度	4月1日時点	2.75	0.80
	補正後予算額	3,962,966	0		年度末時点	2.75	0.80
	決算額	3,904,179	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	来庁に対する民間事業者の窓口受付対応率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	広域連合負担金負担分の支出	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	適正な後期高齢者医療保険事業の運営ができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	後期高齢者医療保険制度を健全に運営するため、資格や賦課の適正化に努めるとともに、保険料の収納率の向上を図ります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	国民年金制度の運営	
	担当部署名	健康福祉部 国保年金課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	2-5 生活支援の推進	
	施策の展開内容	年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。 生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。	
事務事業の目的 ・概要	国民年金制度の長期的な安定を図るため、制度内容の周知や窓口相談体制の充実に努め、制度への加入の促進と保険料の納付率向上を図ります。		
関連する市の計画等			
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	国民年金加入促進及び納付奨励		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	383	0	令和4年度 (年度末時点)		3.15	2.40
令和5年度	当初予算額	411	0	令和5年度	4月1日時点	4.15	2.40
	補正後予算額	411	0		年度末時点	4.15	2.40
	決算額	384	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	国民年金の届出・申請等の受理に係る年金機構 への報告率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	年金機構と連携を図りながら、適正な国民年金事業の運営ができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	国民年金制度の長期的な安定を図る上で、制度内容の周知や保険料納付率の向上を図る必要があり、今後も推進していきます。